

私学助成署名推進ニュース

全国私学助成をすすめる会
 (事務局：全国私立学校教職員組合)
 No.32 2022年1月26日(水)

京都府で「あんしん修学支援事業費」に多子加算を新設！ すすめる会の要請に応じて

このほど発表された京都府の令和4年度予算案で、「あんしん修学支援事業」に多子加算が新設されることがわかりました。「年収590万円～910万円の世帯に8万円を上乗せする」というこれまでの県単独制度に、兄弟姉妹が同時在学する場合はさらに1人なら1万円、2人以上なら2万円を上乗せするという制度になります。(下の府資料の下部「ポイント」参照)

京都すすめる会では、昨年の12月23日に父母10名を含む7校21名で、約8万筆の府知事宛て要請署名を提出しました。知事宛ての要請書には「授業料軽減補助(年収910万未満世帯に年8万円)の対象を拡充してください」とあり、提出の際の当局との懇談でも、多くの父母から「兄弟がいると一度に家計負担が重なるので大変」という訴えがありました。今回の多子加算の新設は、金額としては大きなものではないかもしれませんが、すすめる会の8万筆という署名運動と20名を超える人数で具体的な課題を指摘して要請をおこなった、という粘り強くとりくみに県当局が応えたものである、という点で重要な成果です。また、「年収590万円の崖」問題を解消する、という私教連の方針にも沿った前進といえます。

京都すすめる会事務局長の鈴木さんは、先進的な京都の制度でも「年収590万円の崖」の解消が引き続き課題であることを指して、「その次の段階をなんとかゆるやかにしてほしい、と訴えていく」と述べています。



(3) 子育てしやすいまちの実現

未入園児保育支援事業費(2歳児子育て支援利用料減免)

2千万円規模

私立幼稚園が多子世帯等の子の利用料を減免する場合の費用を支援

ポイント

私立幼稚園に通う、多子世帯の2歳児に対する府独自支援制度を創設



同時在園の多子世帯: 第2子: 1/3を減免 第3子以降: 2/3を減免 等

あんしん修学支援事業費(学費軽減同時在学加算)

2千万円規模

学費軽減対象世帯^(※)で兄弟姉妹が府内高校に同時在学する場合、上乗せ支援

※ 年収590～910万円の世帯(学費軽減 8万円助成)

ポイント

2人以上同時に私立高校に通学する場合

(例 兄姉:私立、弟妹:私立)



2万円上乗せ(合計10万円)

いずれかが私立高校に通学する場合

(例 兄姉:公立、弟妹:私立)



1万円上乗せ(合計9万円)

私学助成全国署名 2,898,669筆(1/24時点) さらなる奮闘を！

2021年度私学助成全国署名は、1月15日の2022私学春闘討論集会の際の報告で2,559,094筆でしたが、その後、東京、愛知、大阪などから集約の報告があり、現在約290万筆となりました。この間、發文84号、86号でお伝えしたとおり、2月17日(木)に予定している署名提出院内集会まで、国向け署名の継続・強化を呼びかけています。京都の事例からもわかるように、署名の1筆1筆が私たちの要求実現に欠かせない力となるのです。逆に言えば、署名がどんどん減っていけば、それだけ私たちの影響力も落ちることを意味します。コロナ禍「第6波」のさなかで、期間も限られてはいますが、昨年度の360万筆に少しでも近づけるよう、最後まで粘り強くとりくんでいきましょう。

1月31日(月)時点での集約数を報告していただくことになっています。近日中にその用紙を発送しますので、最新の集約数をお知らせください。繰り返しますが、最後まで粘り強くとりくんでいきましょう！